

## 全国大腸癌肝転移登録事業及び登録情報に関する研究

### 1. 研究の対象

2003年から2013年までの間に防衛医科大学校病院外科で治療の行われた大腸癌肝転移の患者さん 330名

### 2. 研究目的・方法

大腸癌肝転移は、切除により40%前後治癒と言われています。また、抗癌剤治療の進歩によりその成績はさらに向上しています。しかし現在、大腸癌肝転移の治療の統一的な基準はなく、医療機関ごとの治療方針は一定しておりません。そこでたくさんの患者さんの状況を調査することで、標準的な治療方針を作成することが望まれています。

対象は2003年から2013年までの間に防衛医科大学校病院外科で治療の行われた大腸癌肝転移の患者さん330名としており、臨床情報（手術の内容、病理結果等）を使用いたします。患者さんのデータを全国大腸癌肝転移データベース（事務局：がん・感染症センター 都立駒込病院外科）に登録することで、大腸癌肝転移データベースを構築し、たくさんの情報を解析することで、日本における大腸癌肝転移に対する標準治療について検討を行います。大腸癌肝転移患者さんや大腸癌患者さん全体の医療・福祉に貢献することを目的とします。

研究期間は平成30年12月までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報（手術の内容、病理結果、手術後の経過、手術後の治療内容等）を使用いたします。

### 4. 外部への試料・情報の提供

臨床情報は、共同研究する他の施設に提供される可能性があります。情報は郵送で移送します。患者さんの臨床データはID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、その他通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

がん・感染症センター 都立駒込病院外科 高橋 慶一 ほか 157 施設

[http://www.jscer.jp/project/proj\\_kanteni.html](http://www.jscer.jp/project/proj_kanteni.html)

[file:///C:/Users/Eiji%20Shinto/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/5RP/OSFZA/201603goudou\\_report.pdf](file:///C:/Users/Eiji%20Shinto/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/5RP/OSFZA/201603goudou_report.pdf)

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校 外科 神藤 英二

TEL:04-2995-1511 (内線 2356)

### 研究責任者：

防衛医科大学校 上野 秀樹

### 研究代表者：

がん・感染症センター 都立駒込病院外科 高橋 慶一